

<調査趣旨>

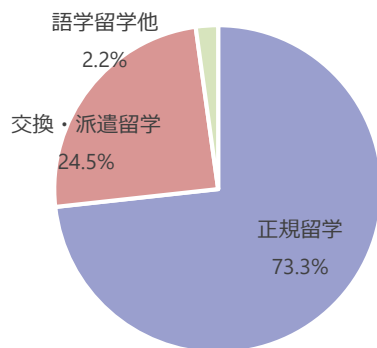
海外の大学・大学院に留学する日本人留学生を対象に、新型コロナウイルス感染拡大により、留学生活や就職活動にどのような影響が出ているのか、緊急アンケート調査を実施しました。

<調査概要>

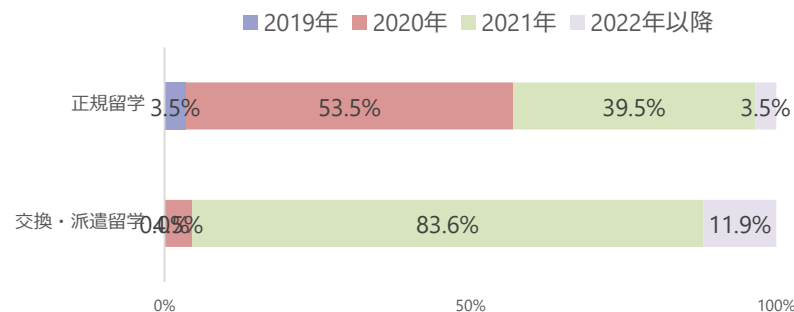
- 調査対象 : CFN (www.careerforum.net)に登録している【日本人留学生】のうち、卒業時期が2021年12月以前の者 5,983人
- 調査時期 : 2020年4月3日～12日
- 調査方法 : インターネット調査法
- 回答者数 : 273人
- 調査機関 : 株式会社ディスコ キャリタスリサーチ

<回答者属性>

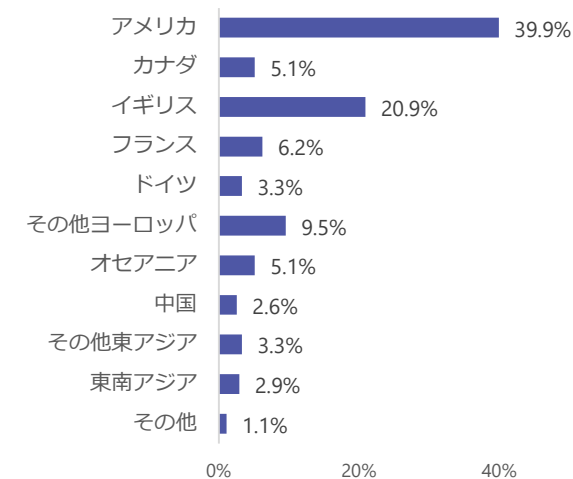
留学形態



卒業予定年



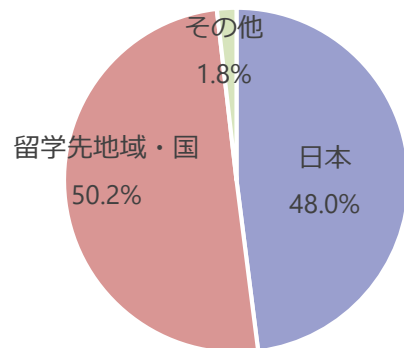
留学先地域・国



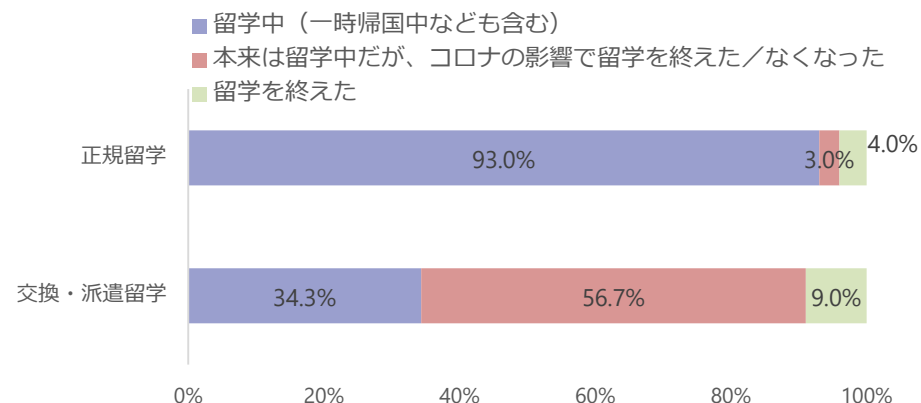
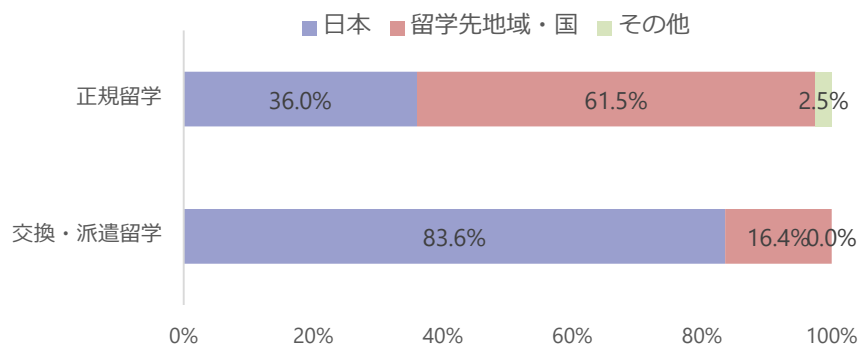
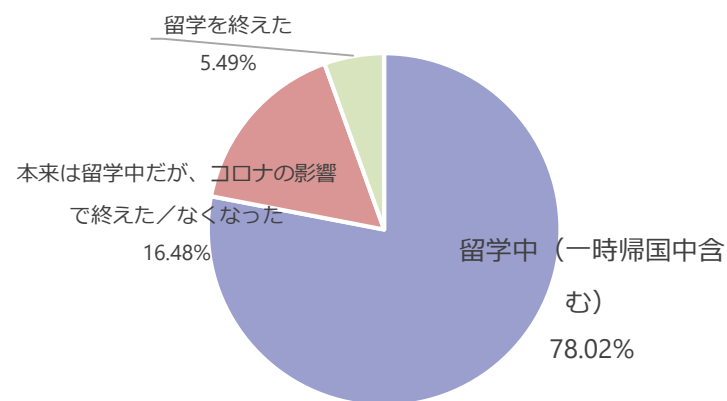
調査時点での留学状況／滞在場所

- 4月上旬時点の滞在地は「留学先地域・国」が過半数（50.2%）。正規留学生では6割超（61.5%）。
- 「本来は留学中だが、コロナの影響で留学を終えた／なくなった」が16.48%。交換・派遣留学生では5割を超える。

調査時点での滞在地



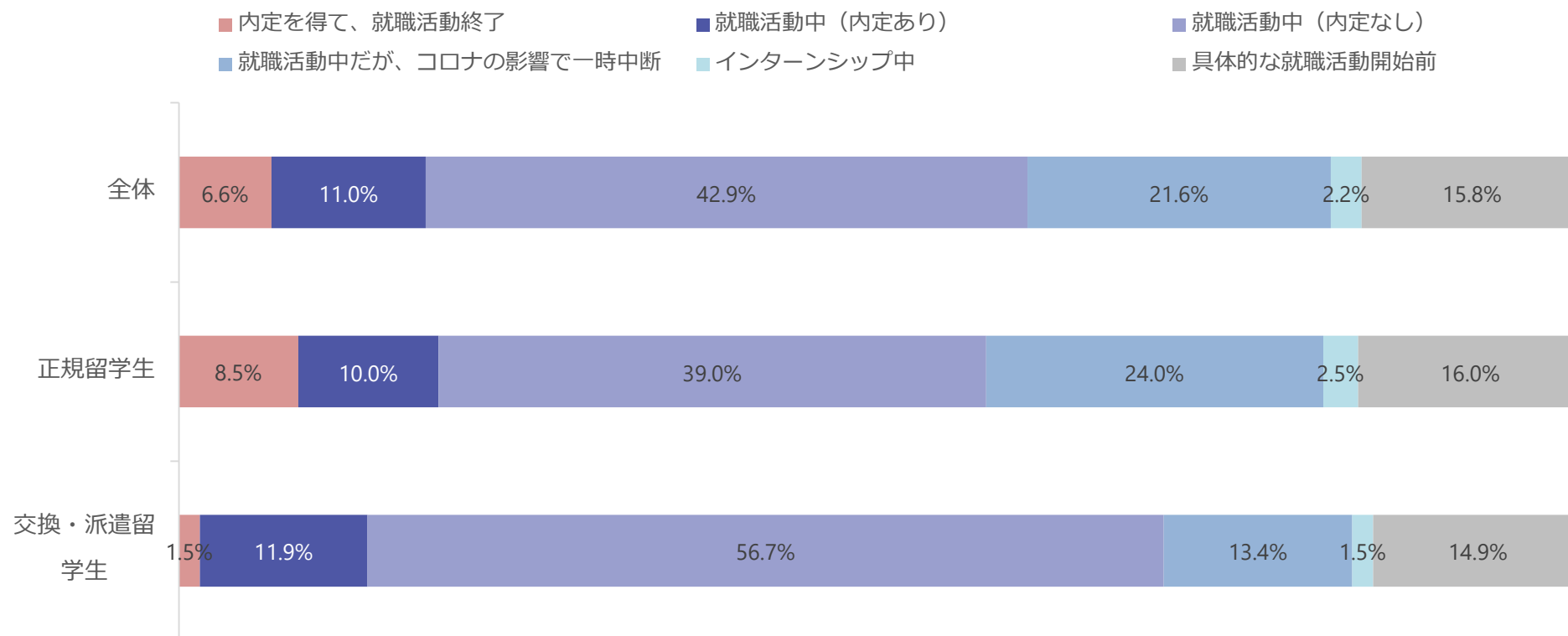
留学状況



就職活動状況

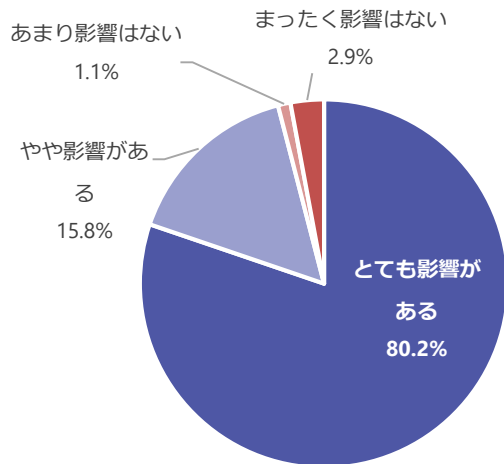
- 調査時点で就職活動中の留学生は合計7割強。
- 「就職活動中だが、コロナの影響で一時中断」が、正規留学生で24.0%、交換・派遣留学生で13.4%。

調査時点での就職活動状況



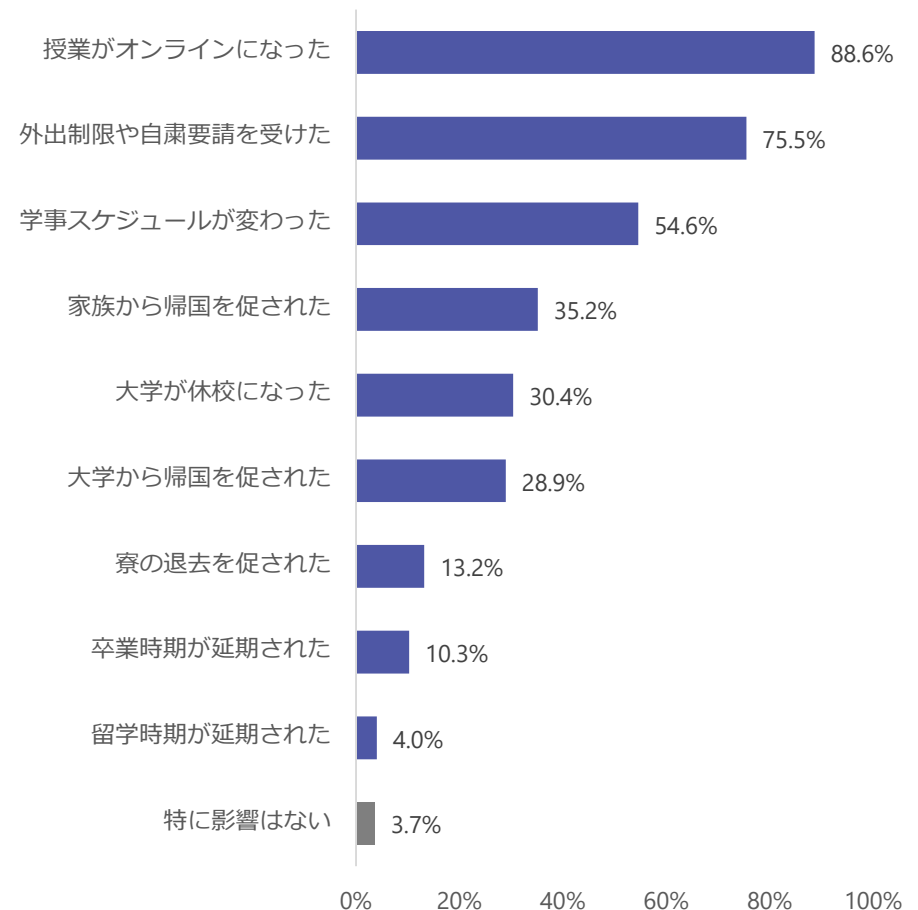
新型コロナウイルス感染拡大による留学生活への影響

- 留学生活に「とても影響がある」（80.2%）、「やや影響がある」（15.8%）をあわせて96.0%に上る。
- 授業のオンライン化や外出制限のほか、コメントからも多岐にわたる影響がうかがえる。



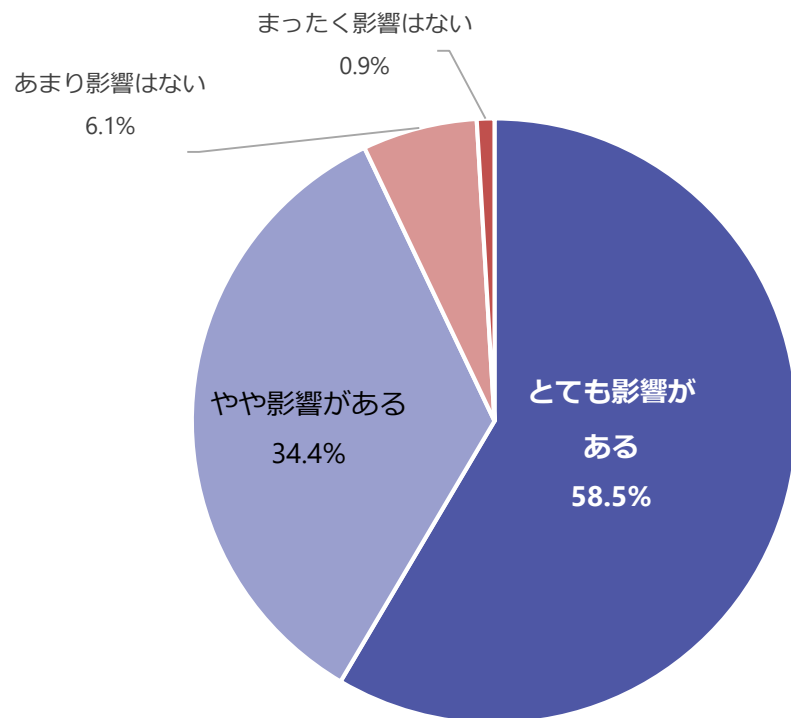
■ 留学生活への具体的な影響や困っていること

- ・ 帰国後もオンライン授業を受けているが、時差があり、生活リズムが崩れてしまう。 <交換・派遣留学生/アメリカ>
- ・ 人と会話することがほとんどなく、授業もオンラインになり、留学の意味が感じられなくなりつつあります。 <正規留学生/イギリス>
- ・ 一時帰国したので研究が進まない状況です。 <正規留学生/アメリカ>
- ・ 留学計画変更による奨学金受給資格失格の恐れがある。 <交換・派遣留学生/フランス>
- ・ 入国拒否のため留学先に戻れません。ビザの申請ができず困っています。 <正規留学生/カナダ>



新型コロナウイルス感染拡大による就職活動への影響

- 就職活動に「とても影響がある」(58.5%)、「やや影響がある」(34.4%)をあわせて9割超に上る。
- 企業の採用活動状況の変化に加え、急な帰国など自身の環境の変化によっても就職活動に影響が出ているようだ。



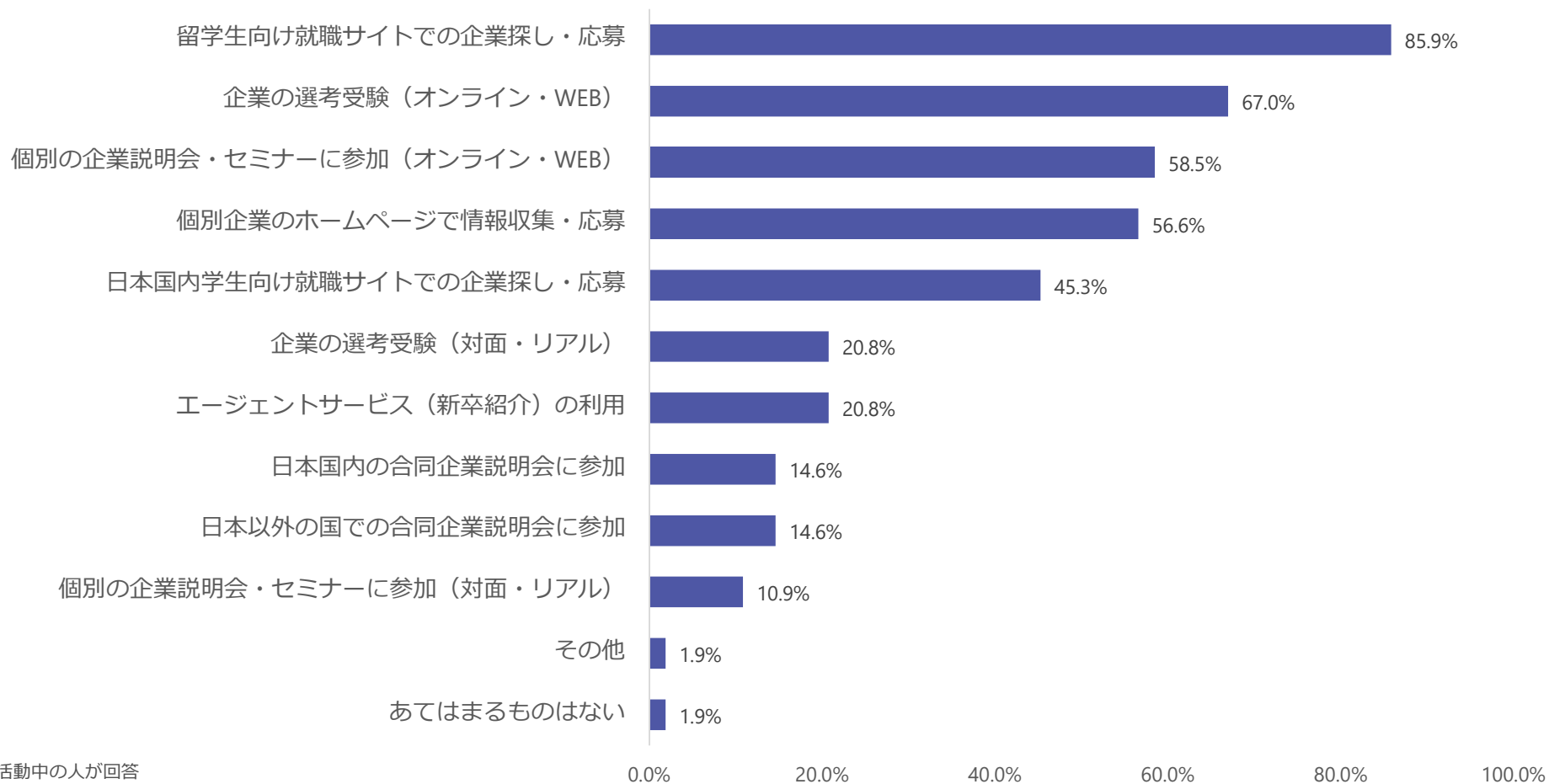
※就職活動中の人が回答

■ 就職活動への具体的な影響

- ・ オンキャンパスイベントなど様々な就職イベントがキャンセルとなり、就活の場がかなり制限されている。 <正規留学生/カナダ>
- ・ コロナの影響を受け、選考プロセスを検討中といくつかの企業に言われているが、連絡がなかなか来ない。 <正規留学生/アメリカ>
- ・ 大学や寮などの対応に迫られ、選考応募の期日を逃してしまった。 <正規留学生/イギリス>
- ・ 途中まで進んでいた海外選考が中断。国内選考への移行を求められ、最初からやり直し。 <交換・派遣留学生/イギリス>
- ・ 選考を受ける予定であった企業がオンライン選考をしないことから、受けることができなくなった。 <正規留学生/イギリス>
- ・ すべてオンラインで採用活動をしている企業は限られている。しかし外には出られない。 <正規留学生/アメリカ>
- ・ 突然の帰国で就職活動を始めたが、応募を締め切っている企業が多く、思うように進まない。 <交換・派遣留学生/ドイツ>
- ・ 一時帰国して選考に参加する予定だったが、帰国できなくなったため、エントリーできる企業が限られてきた。 <正規留学生/台湾>
- ・ オンラインで続けられている留学先の授業と就職活動を並行して行っているため負担が大きい状況です。 <交換・派遣留学生/フランス>
- ・ 対面で企業と会える機会がなくなり、雰囲気等肌で感じられない。 <交換・派遣留学生/中国>
- ・ 国内外選考ともにオンラインに切り替わった所が多いので、滞在地を問わず就職活動ができるようになった。 <交換・派遣留学生/フランス>

就職活動で実施していること／取り組みたいこと

- 最も多いのは「留学生向け就職サイトでの企業探し・応募」で8割超（85.9%）。
- 「企業の選考受験（オンライン・WEB）」「個別の企業説明会・セミナーに参加（オンライン・WEB）」が続く。
- 対面でのイベントなどが制限される中、オンラインで企業情報を求めている様子が見て取れる。



内定承諾まですべてオンラインで進むことへの抵抗感

- コロナの影響で選考のオンライン化が加速しているが、一度も企業の担当と直接会う機会がないまま入社を決断することについて、「抵抗はない」が過半数（計54.3%）。

とても抵抗がある（直接に
会ってから決めたい）

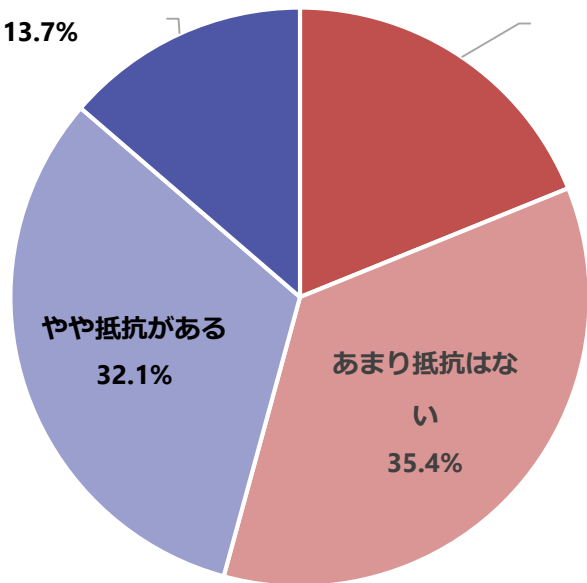
13.7%

まったく抵抗はない
（一度も直接会わずに
決められる）

18.9%

やや抵抗がある
32.1%

あまり抵抗はな
い
35.4%



※就職活動中の人が回答

■ 「抵抗はない」理由

- ・はじめは抵抗があったが、カジュアル面談など、面接や面談を重ねるうちに思ったより不安はなくなった。
- ・社風、給与、働き方をオンライン面接を通して探っていきたい。
- ・対面でコミュニケーションを取れないデメリットより、留学中でも幅広く就職活動できる恩恵の方が大きいと感じているからです。
- ・オンラインでもOB訪問を重ねていると社風などわかるため、実際に会うのと大差はないと感じる。
- ・この状況下で対面を実施しようとする企業の方が不信感がある。

■ 「抵抗がある」理由

- ・実際にその企業の人と接する機会があってこそ、よりその企業の良し悪しがわかる気がするから。
- ・オンライン面接の短時間のみで企業風土を知るのは非常に難しい。
- ・本当の自分を理解されていない気もするし、会社の雰囲気もわからないから。
- ・事務職ではオンライン面接で事足りることもあるが、技術職や接客業などは、まず現場に見学に行くことが大切だと思う。
- ・本社に足を運び、面談をしていただくなどして、自分の希望と社風が合っているか吟味してから内定を承諾したいです。